

安全データシート

1. 製品及び会社情報

Cat.No. : _____
製品名 : セル用洗浄液
会社名 : セントラル科学株式会社
住所 : 〒112-0001 東京都文京区白山 5-1-3 東京富山会館ビル
担当部門 : 品質保証部
電話番号 : (03) 3812-9186
FAX 番号 : (03) 3814-7538

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 健康有害性 急性毒性：経口：区分 3
皮膚腐食性/刺激性：区分 2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：区分 2A
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：区分 2（呼吸器系）

GHS ラベル要素 :



危険

危険有害性情報 : 飲み込むと有害

皮膚刺激
強い眼刺激
臓器の障害（呼吸器系）

注意書き :

<安全対策>

適切な保護手袋および保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉塵又は煙、ミスト、ガス、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

<応急措置>

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用
していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が
続く場合、医師の手当を受けること。

皮膚（又は毛）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐ/取り除く
こと。付着部は多量の流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場
合、医師の手当を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師の手当を受ける。口をすすぐこと。

暴露した場合：医師の手当を受けること。

汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。

<保管>

施錠して保管すること。

<廃棄>

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理す
る。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名	含有量	化学式	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
水酸化カリウム	0.5~2%	KOH	1-369	1310-58-3

水系の高品質のアニオン、非イオン界面活性剤、安定化剤、アルカリ、非りん酸洗浄ビルダーの合成乳剤

4. 応急処置

- 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類を全て脱ぐ/取り除き、直ちに付着部を多量の水で洗い流す。刺激のある場合は医師の手当を受ける。
- 眼に入った場合： 直ちに多量の流水で 15 分以上洗い流す。きれいな指で瞼を開いて洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合： よく口をすすぎ、多量の水を飲ませる。直ちに医師の手当を受ける。嘔吐させてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 周囲の状況に適した消火剤を使用する。
- 火災時特有の危険有害性： 本製品は不燃性である。
火災時に有害なガスが発生するため、消火の際には適切な保護具を着用する。
- 特定の消火方法： 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は周辺に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護： 消火活動は風上から行い、有害なガス又はミストの吸入を避ける。適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置： 作業の際は適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、蒸気を吸入しないようにする。関係者以外の立ち入りを禁止する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。風上から作業して、風下の人を退避させる。
- 環境に対する注意事項： 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。汚染された排液が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・
機材： 漏洩した液は珪藻土、砂、市販の吸収剤で吸収し、空容器に回収する。漏洩した箇所は大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 取扱いは換気の良い場所で行う。使用の際は適切な保護具を着用する。取扱い後は手を洗浄する。
- 注意事項： 開封や取扱う際に粗暴な扱いをしない。眼、皮膚に付けたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。漏れ、溢れ、飛散等しないようにし、みだりに蒸気、エアロゾルを発生させない。使用中に飲食、喫煙をしてはならない。取扱い後は手を洗浄する。
- 安全取扱い注意事項： 吸入したり、目、皮膚および衣服に触れないように適切な保護具を着用する。使用の際は適切な換気を行う。

保管

- 適切な保管条件： 直射日光を避け、密封して常温で保管する。

強酸、アルミニウムから隔離する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：	局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに洗眼施設及び身体洗浄施設を設置する。
管理濃度：	設定されていない
許容濃度	
ACGIH TLV (s)：	STEL 2mg/m ³ (水酸化カリウムとして)
日本産業衛生学会：	2mg/m ³ (水酸化カリウムとして)
保護具	
呼吸器の保護具：	特になし
手の保護具：	保護手袋
目の保護具：	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具：	保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態・形状：	液体
色：	白濁
臭い：	わずかにあり
pH：	>13@20°C
融点：	-3.8°C
沸点（初留点）	100.5°C
引火点：	適用なし
燃焼性：	不燃性
燃焼又は爆発範囲 （上限・下限）：	不燃性
蒸気圧：	17.1mmHg@20°C
比重：	1.083@20°C
溶解性：	水と混和

10. 安定性及び反応性

安定性：	安定。
危険有害反応可能性：	強酸と激しく反応する恐れがある。アルミニウムと接触すると水素を生成する恐れがある。
混触危険物質：	非鉄金属（特にアルミニウムと亜鉛）を腐食する可能性がある。

11. 有害性情報

製剤についてのデータは無い。

急性毒性：	水酸化カリウムについて 経口 ラット LD50=284mg/kg
皮膚腐食性・刺激性：	水酸化カリウムについて ウサギによる試験で腐食性（SIDS(2001)）、ヒトに対して腐食性（SIDS(2001)）の記載があり、国連分類クラス 8II に分類されている。
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	水酸化カリウムについて ヒトに対して不可逆な障害があり（SIDS(2001)）、ウサギの試験で腐食性（SIDS(2001)）の記載がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	皮膚感作性： 水酸化カリウムについて モルモットの試験で陰性（SIDS(2001)）の記載があり、ヒトの報告はないが、カリウムイオンとヒドロキシドイオンも生

体内に存在するので皮膚感作性の原因とはならない
(SIDS(2001))の記載がある。

生殖細胞変異原性：	水酸化カリウムについて 水酸化カリウムの in vitro 試験はエームズ試験で陰性 (SIDS(2001))のデータはあるが、in vivo 試験のデータはない。しかし、水酸化ナトリウムは体細胞 in vivo 変異原性試験(小核試験)で陰性、生殖細胞 in vivo 変異原性試験(卵母細胞異数性検出)で条件は限られているものの陰性である (SIDS(2001))。
発がん性：	データなし
生殖毒性：	データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)：	水酸化カリウムについて 粉塵又はミストを吸入暴露すると鼻、気管気管支に熱傷等の障害を起こし、肺水腫にまで至る(SIDS(2001)、ACGIH(2001)、PATTY(5th,2001))。
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)：	データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性：	
魚毒性	データなし
残留性・分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし
土壤中の移動性：	データなし
オゾン層への有害性：	データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
汚染容器及び包装：	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

国連分類：	非該当
国連番号：	非該当
海洋汚染物質：	非該当
注意事項：	輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法：	非該当
化学物質管理促進法：	非該当
労働安全衛生法：	施行令第 18 条名称等を表示すべき有害物(水酸化カリウム) 施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物(No.316 水酸化カリウム)
海洋汚染防止法：	施行令別表第 1 有害液体物質(Y 類)(水酸化カリウム)
水質汚濁防止法：	施行令第 2 条指定物質(水酸化カリウム)
船舶安全法(危規則)：	腐食性物質(水酸化カリウム)
航空法：	腐食性物質(水酸化カリウム)
港則法：	腐食性物質(水酸化カリウム)

1 6. その他の情報

引用文献

Decon Laboratories Limited DECON90 2012.11.01
13901 の化学商品 化学工業日報社
化学物質安全情報 研究会編 オーム社
化学大辞典 東京化学同人
関東化学株式会社 安全データシート（水酸化カリウム）
和光純薬工業株式会社 安全データシート（水酸化カリウム）
安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/>
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>

この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。

また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の実用を前提としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。